



ナミテントウは

なに たべ
何を食べているのか知ってる？

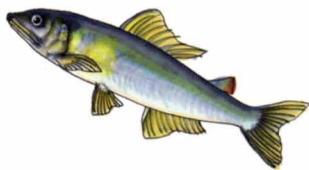
1 しよくぶつ
植物につく
アブラムシ



2 は さいきん
葉っぱにつく
細菌やバクテリア



3 は
ナスやジャガイモなどの
葉っぱ



アユはなに たべ 何を食べて

おお し
大きくなるか知ってる？

1 こ さかな
小魚や
エビなど



2 かわそこ いし
川底の
石についた藻



3 かわそこ ちい さいなもの
川底にすむ
小さな生き物



ナミテントウは、成虫も幼虫も植物につくアブラムシを食べてるんだ。まちなかから山地までどこでもみられるテントウムシだよ。野菜や花などについてたアブラムシを食べてくれるから、農薬のかわりにもなる虫なんだ。ナミテントウのからだの模様は、二つ星や四つ星、黒い星がたくさんあるものなど、いろいろあるんだよ。



ぼくたちの星の模様は、いろいろな種類があるんだよ。



topics

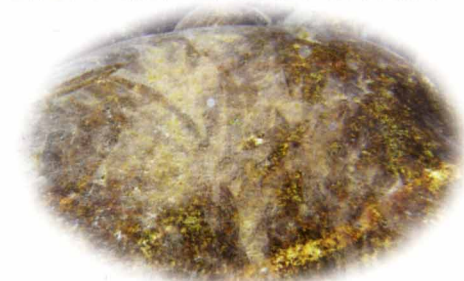
ナミテントウの一生

ナミテントウの幼虫は成虫とは全然ちがう形をしています。その姿はちょっと毒々しく感じますが、やがてサナギの時期を経て成虫になります。成虫になったばかりのナミテントウの体の色は、黄色一色です。しかし、数時間後には見なれたテントウムシの模様が現れます。春から秋にはアブラムシを食べて植物のまわりをさかんに動き回ります。気温が低くなると家の壁やサッシの隙間などに入り込んで、一か所に体を寄せ合って冬を越すのです。



テントウムシはたくさんの種類がいて、たべものもそれぞれ違うんだ。他のテントウムシは何を食べているのかな？調べてみよう！

アユは春になると海から群れをつつて川にのぼってくるんだ。そのなかからからだの強いアユは、えさになるケイソウと呼ばれる藻がよく育つ場所です。「縄張り」をもつようになるんだよ。この縄張りの大きさはだいたい縦横1mくらいなんだって。縄張りを守るためにほかののアユが入ってくると体当たりして追い出そうとするんだよ。



アユが石についたケイソウを食べたあと。

春の多摩川にはたくさんの稚アユが上ってくるよ。



topics

アユの一生

夏にケイソウを食べて大きくなったアユは、秋になると卵を産みます。その場所は決まっています、世田谷区内の多摩川では二子玉川駅から東名高速道路のあいだあたりです。卵からかえった稚アユは川をくだって冬の間は東京湾の浅い場所などに群れを作っています。この頃のアユは海のプランクトンなどを食べます。そして春を迎える頃には体長が7～8cmほどに成長し、やがて多摩川を上りはじめます。アユは一生が一年のため、「年魚」とも呼ばれています。



アユの口は石についた藻をはぎ取りやすいようにくしの歯のような形をしています。